



Chilled & Frozen
Logistics Holdings
Co.,Ltd.

平成28年3月期

第2四半期決算ご説明資料

株式会社C&Fロジホールディングス

東京証券取引所市場第一部

証券コード9099

URL://www.cflogi.co.jp/

目次

I. 名糖運輸株式会社	・・・P2
1. 連結業績ハイライト	・・・P3
2. 営業収益の増減要因	・・・P4
3. 営業利益の分析	・・・P5
4. 主な資産・負債等の増減	・・・P6
5. 中期経営計画	・・・P7
6. 中間配当について	・・・P8
II. 株式会社ヒューテックノオリン	・・・P9
1. 連結業績ハイライト	・・・P10
2. 営業収益の増減要因	・・・P11
3. 営業利益の分析	・・・P12
4. 主な資産・負債等の増減	・・・P13
5. 中間配当について	・・・P14
III. 株式会社C&Fロジホールディングス	・・・P15
1. 平成28年3月期 連結業績予想	・・・P16
2. 事業会社別業績予想	・・・P17
3. 負ののれん発生益について	・・・P19
4. 株式配当について	・・・P20
5. 今後の主な動向について	・・・P21
(1) 海外事業について	
(2) 新店の開設について	



I. 名糖運輸株式会社

平成28年3月期第2四半期実績



1. 連結業績ハイライト

平成28年3月期第2四半期連結累計期間の業績

(単位：百万円/Millions of yen、%)

区分 Division 科目 Accounts	実 績 Results		対前期 Compared with the previous fiscal year		対予想 Compared with financial results forecast	
	金額 Amount of money	構成比 Structural ratio	増減額 Increase /Decrease	増減率 Changing rate	増減額 Increase /Decrease	増減率 Changing rate
営業収益 Operating revenue	30,764	100.0	887	3.0	764	2.5
営業利益 Operating income	1,132	3.7	576	103.7	232	25.8
経常利益 Ordinary income	1,262	4.1	632	100.2	312	32.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益 Net income attributable to owners of the parent	901	2.9	526	140.7	401	80.3

(注) 対予想は平成27年5月11日公表数値に対する当実績の増減額と増減率です。

【営業収益】

既存荷主の物量・アイテム数増、適正料金の収受の実現、新規営業所開設をはじめとするCVS事業の拡大。

【営業原価】

燃油コストの大幅低下、自社運行促進による庸車費用の削減もあり、営業原価の大幅増加を抑制。

【営業外損益】

営業外収益…実績193百万円（前期差56百万円）※保険金返戻52百万円

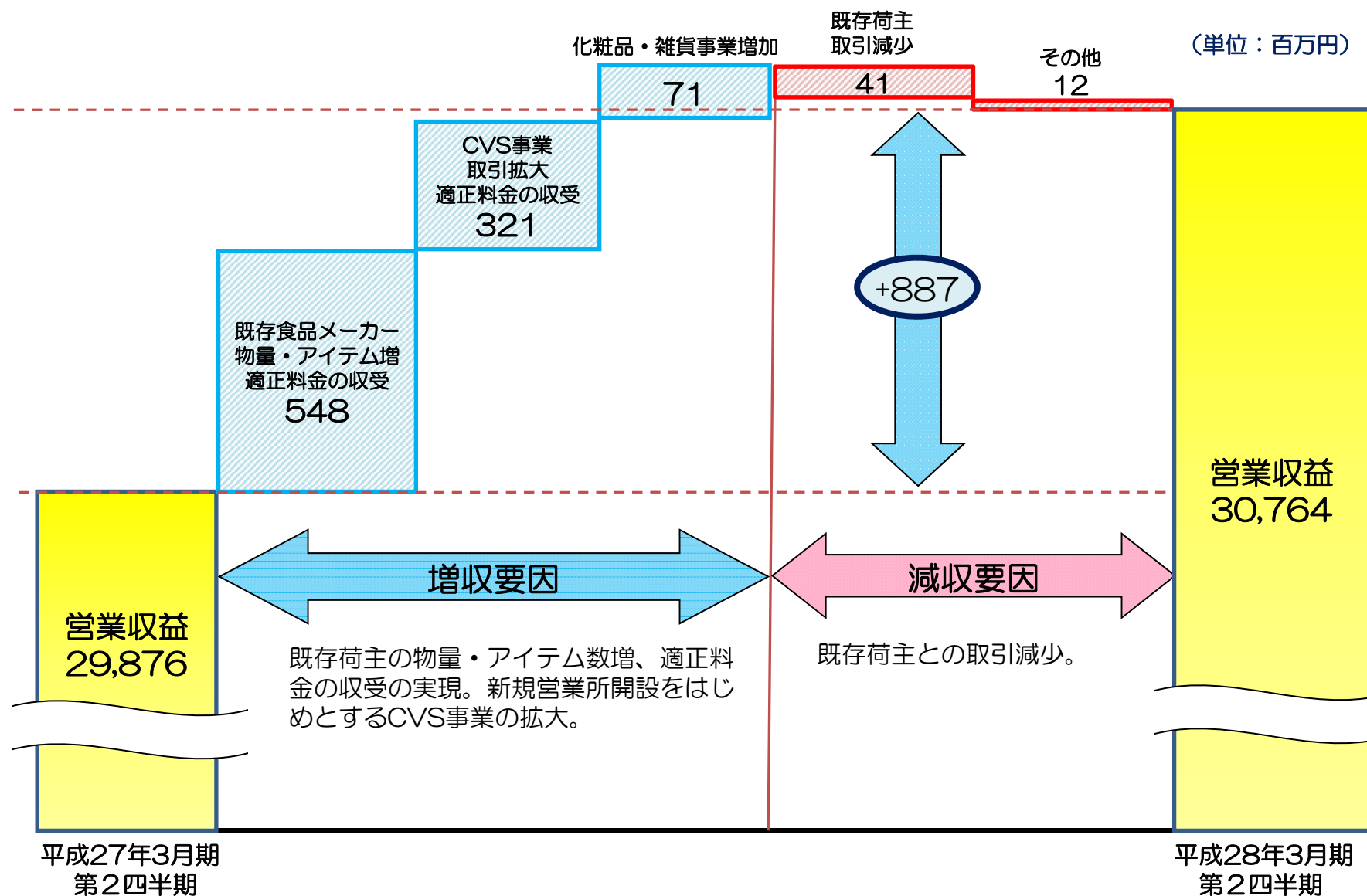
営業外費用…実績 62百万円（前期差1百万円）

【特別損益】

特 別 利 益…実績なし

特 別 損 失…実績なし

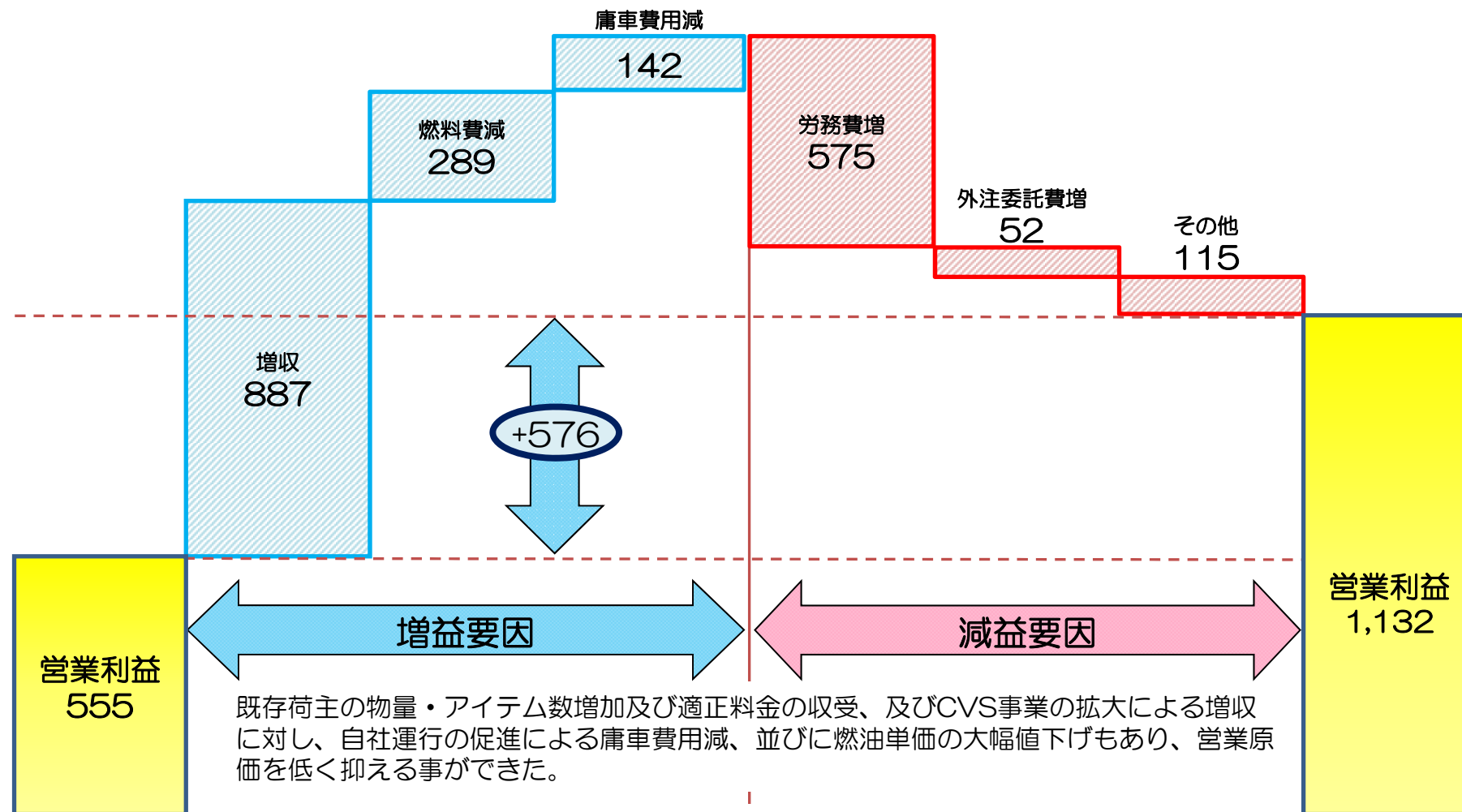
2. 営業収益の増減要因～887百万円増収の内訳～



3. 営業利益の分析

営業利益の増減要因～576百万円増益の内訳～

(単位：百万円)



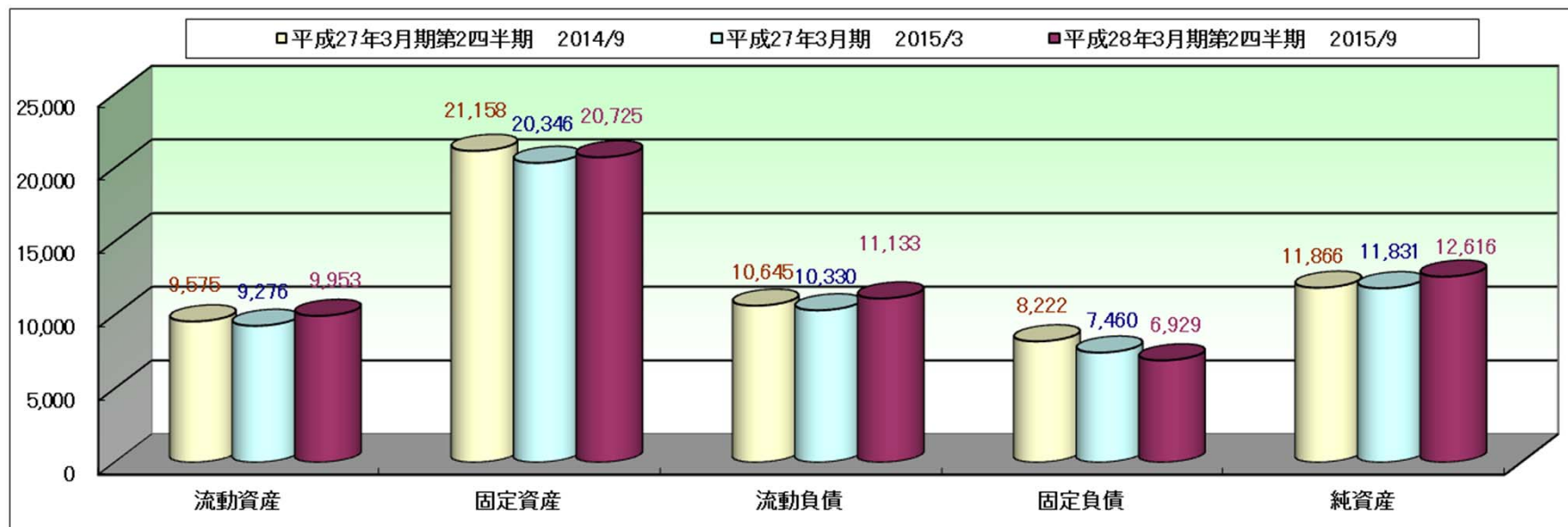
平成27年3月期
第2四半期

平成28年3月期
第2四半期

4. 主な資産・負債等の増減

(1) バランス・シートの概要

(単位：百万円)



今期の増減の主な理由

流動資産・・・9,953百万円（前期末比 677百万円）

- ・営業未収金の増加(471百万円)

固定資産・・・20,725百万円（前期末比 379百万円）

- ・投資有価証券の増加(119百万円)

流動負債・・・11,133百万円（前期末比 802百万円）

- ・短期借入金の増加(782百万円)

固定負債・・・6,929百万円（前期末比 △530百万円）

- ・長期借入金の減少(△577百万円)

5. 中期経営計画 ～収益基盤の再構築～【平成25年度～平成27年度】

(1) 連結数値目標

(平成27年度) ◎営業収益 500億円 ◎経常利益 10億円

(2) 平成28年3月期通期連結業績予想比較

(単位：百万円)

	連結業績予想※	中期経営計画
営 業 収 益	59,100	50,000
経 常 利 益	1,100	1,000

※平成27年11月10日適時開示（参考情報）

今後、様々な要因により上記の連結業績予想は変動する可能性があります。本資料作成現在におきましては、当初計画した数値を達成することが可能であると判断しております。



6. 中間配当について

平成27年9月30日を基準日として、中間配当のお支払を予定しております。

- | | |
|---------------|-------------------|
| ① 1株当たりの中間配当金 | : 7円50銭 |
| ② 支払請求権の効力発生日 | : 平成27年12月 7日 (月) |
| ③ 支払開始日 | : 平成27年12月 7日 (月) |

配当総額については、80,473千円となります。

なお、C & F ロジホールディングスとしましての期末配当金につきましては、本資料P20をご参照ください。

Ⅱ. 株式会社ヒューテクノオリン

平成28年3月期第2四半期実績

1. 連結業績ハイライト

平成28年3月期第2四半期連結累計期間の業績

(単位：百万円/Millions of yen、%)

区分 Division 科目 Accounts	実 績 Results		対前期 Compared with the previous fiscal year		対予想 Compared with financial results forecast	
	金額 Amount of money	構成比 Structural ratio	増減額 Increase /Decrease	増減率 Changing rate	増減額 Increase /Decrease	増減率 Changing rate
営業収益 Operating revenue	20,682	100.0	776	3.9	182	0.9
営業利益 Operating income	862	4.2	137	19.0	112	15.0
経常利益 Ordinary income	837	4.1	108	14.9	87	11.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益 Net income attributable to owners of the parent	429	2.1	127	42.2	△ 51	△ 10.5

(注) 対予想は平成27年5月11日公表数値に対する当実績の増減額と増減率です。

【営業収益】

既存荷主の取扱物量増加、一部寄託者からの適正料金収受の実現。

【営業原価】

車両を中心とした外注費の増加、労務費の増加などによる営業原価の増加、燃油価格下落による業務費用の減少。

【営業外損益】

特記事項なし

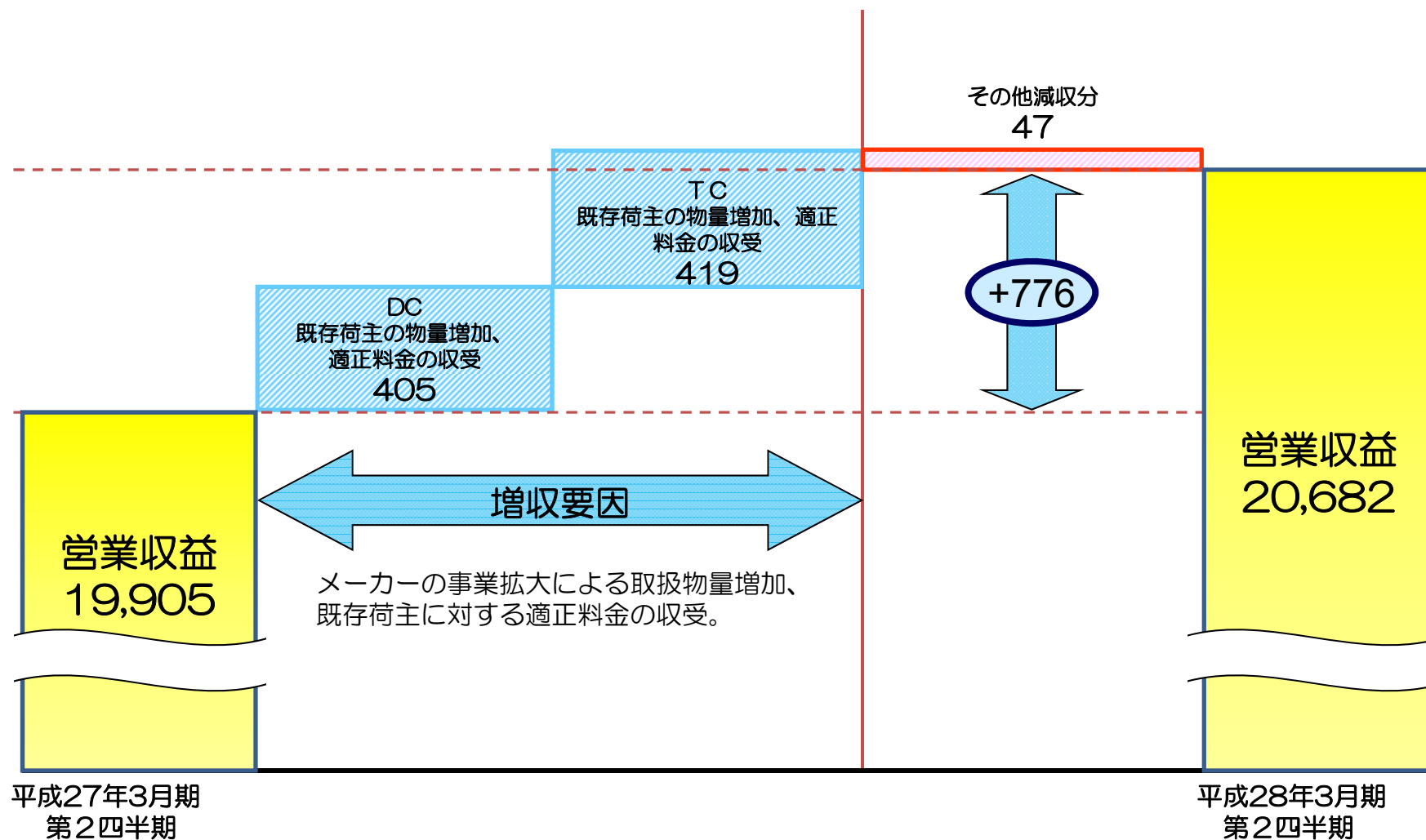
【特別損益】

特別利益…実績 37百万円（前期差△18百万円） ※新株予約権戻入益36百万円

特別損失…実績 118百万円（前期差+118百万円） ※役員退職慰労引当金97百万円、投資有価証券評価損14百万円

2. 営業収益の増減要因～776百万円増収の内訳～

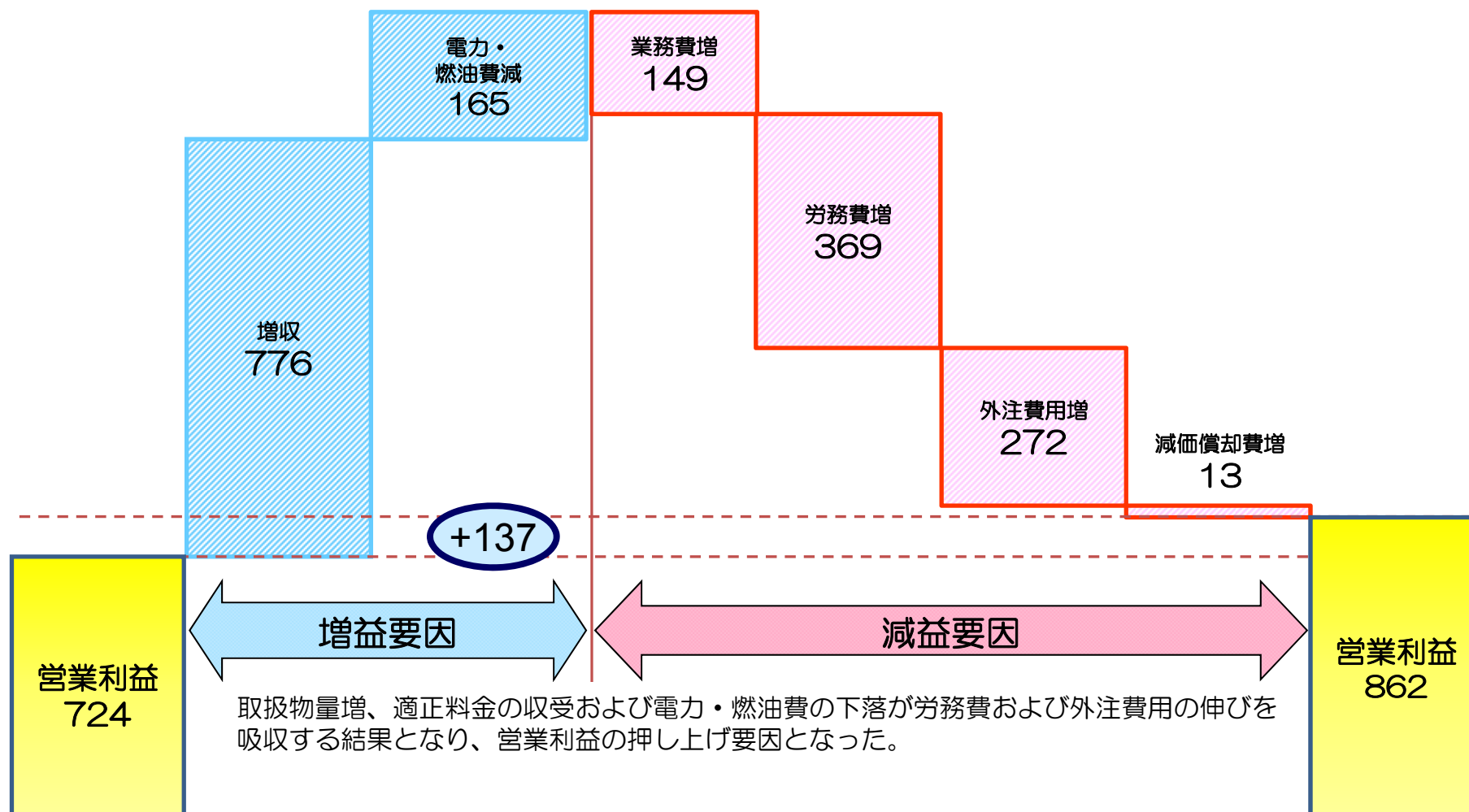
(単位：百万円)



3. 営業利益の分析

営業利益の増減要因～137百万円増益の内訳～

(単位：百万円)



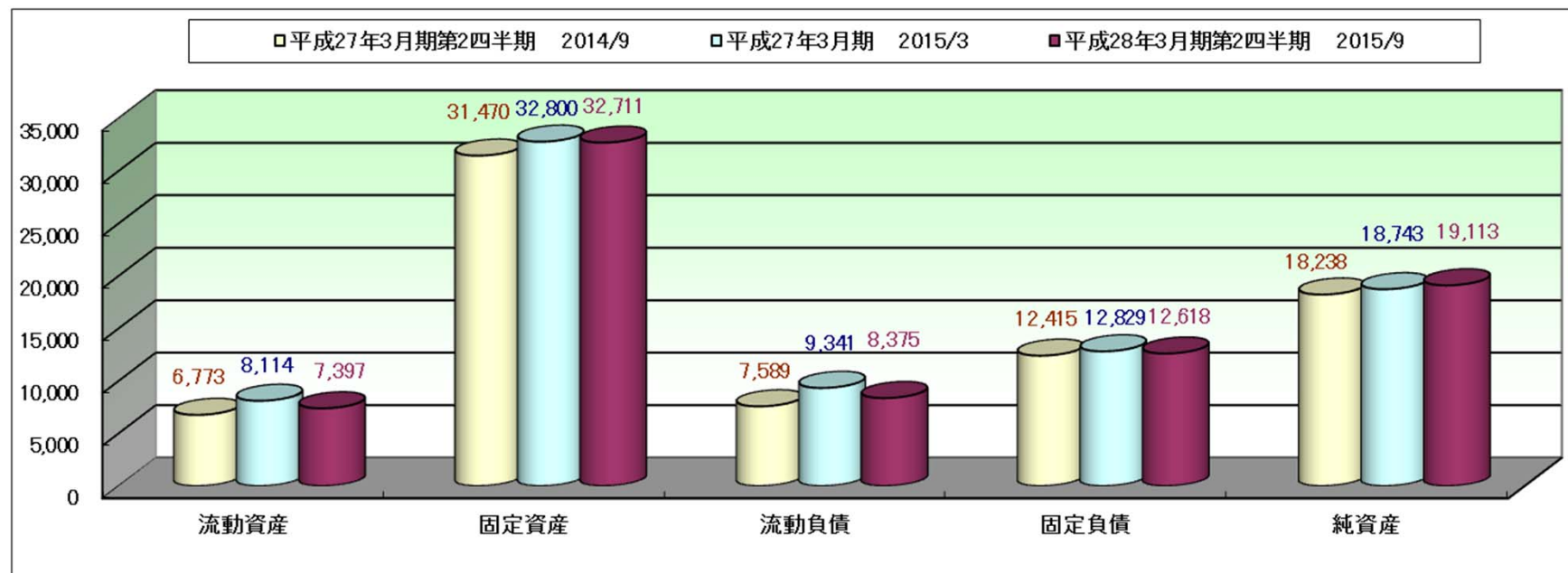
平成27年3月期
第2四半期

平成28年3月期
第2四半期

4. 主な資産・負債等の増減

(1) バランス・シートの概要

(単位：百万円)



今期の増減の主な理由

流動資産・・・7,397百万円（前期末比 △717百万円）
・現金及び預金の減少（△1,022百万円）

固定資産・・・32,711百万円（前期末比 △89百万円）
・埼玉支店の建設仮勘定の増加（＋429百万円）
・投資有価証券の含み益増加（＋218百万円）
・長期貸付金の減少（△530百万円）

流動負債・・・8,375百万円（前期末比 △966百万円）
・埼玉支店に係る短期借入金の増加（＋300百万円）
・賞与引当金の増加（＋182百万円）
・設備関係支払手形の減少（△1,398百万円）

固定負債・・・12,618百万円（前期末比 △211百万円）
・埼玉支店に係る長期借入金の減少（△126百万円）

5. 中間配当について

平成27年9月30日を基準日として、中間配当のお支払を予定しております。

- | | |
|---------------|-------------------|
| ① 1株当たりの中間配当金 | : 14円00銭 |
| ② 支払請求権の効力発生日 | : 平成27年12月 7日 (月) |
| ③ 支払開始日 | : 平成27年12月 7日 (月) |

配当総額については、145,454千円となります。

なお、C & F ロジホールディングスとしましての期末配当金につきましては、本資料P20をご参照ください。



Chilled & Frozen
Logistics Holdings
Co.,Ltd.

Ⅲ. 株式会社C & F ロジホールディングス

平成28年3月期連結業績予想

1. 平成28年3月期 連結業績予想

平成28年3月期通期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（単位：百万円／Millions of yen）

	営業収益 Operating revenue	営業利益 Operating income	経常利益 Ordinary income	親会社株主に帰属する 当期純利益 Net income attributable to owners of the parent	1株当たり当期純利益 Net income per share
通期 full year	69,700	1,600	1,600	4,500	175円16銭

- 上記の連結予想数字は、企業連結に関する会計基準に則り、企業会計上の取得企業であるヒューテックノオリンの平成28年3月期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）の連結業績予想と、被取得企業である名糖運輸の平成27年10月1日～平成28年3月31日（平成28年3月期下期）までの連結業績予想を連結したものとなります。
- 経営統合に伴う「負ののれん発生益（本資料P18をご参照ください）」として36億円程度を特別利益に計上する見込みであります。



Chilled & Frozen
Logistics Holdings
Co., Ltd.

2. 事業会社別業績予想

ヒューテクノオリン

平成28年3月期通期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）（単位：百万円/Millions of yen、%）

決算期 Fiscal year 科目 Accounts	平成27年3月期 2015/3		平成28年3月期 2016/3					
	第2四半期 累計期間	通 期	第2四半期累計期間			通 期		
			実績 Results	増 減 Increase /Decrease	増減率 Changing rate	予想 Anticipation	増 減 Increase /Decrease	増減率 Changing rate
営業収益 Operating revenue	19,905	40,228	20,682	776	3.9	41,300	1,071	2.7
営業利益 Operating income	724	1,702	862	137	19.0	1,500	△ 202	△ 11.9
経常利益 Ordinary income	729	1,665	837	108	14.9	1,600	△ 65	△ 3.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益 Net income attributable to awnrs of the parent	302	865	429	127	42.2	900	34	4.0

名糖運輸

平成28年3月期通期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）（単位：百万円/Millions of yen、%）

決算期 Fiscal year 科目 Accounts	平成27年3月期 2015/3		平成28年3月期 2016/3					
	第2四半期 累計期間	通 期	第2四半期累計期間			通 期		
			実績 Results	増 減 Increase /Decrease	増減率 Changing rate	予想 Anticipation	増 減 Increase /Decrease	増減率 Changing rate
営業収益 Operating revenue	29,876	58,246	30,764	887	3.0	59,100	853	1.5
営業利益 Operating income	555	478	1,132	576	103.7	1,000	521	108.9
経常利益 Ordinary income	630	586	1,262	632	100.2	1,100	513	87.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益 Net income attributable to owners of the parent	374	△19	901	526	140.7	800	819	—



【ご参考】ヒューテクノオリン+名糖運輸
平成28年3月期通期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（単位：百万円/Millions of yen、%）

決算期 Fiscal year 科目 Accounts	平成27年3月期 2015/3		平成28年3月期 2016/3					
	第2四半期 累計期間	通 期	第2四半期累計期間			通 期		
			実績 Results	増 減 Increase /Decrease	増減率 Changing rate	予想 Anticipation	増 減 Increase /Decrease	増減率 Changing rate
営業収益 Operating revenue	49,782	98,475	51,446	1,663	3.3	100,400	1,924	2.0
営業利益 Operating income	1,280	2,180	1,994	714	55.8	2,500	319	14.6
経常利益 Ordinary income	1,359	2,252	2,100	740	54.4	2,700	447	19.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益 Net income attributable to awnners of the parent	676	835	1,330	654	96.7	1,700	864	103.5

※この数字はあくまでも、各事業会社の
業績を単純合算したものになり、
開示した数字と異なりますので、
取り扱いにはご注意をお願いします。



3. 負ののれん発生益について

負ののれんとして約36億円を計上する見込であります。

(単位：百万円)

①	名糖運輸単体9月末 純資産額	8,264
②	子会社株式時価評価 による純資産増減	3,339
③	土地・建物時価評価 による純資産増減	△ 1,081
④	退職給付に係る負債時価評価 による純資産増減	309
⑤	時価評価後の純資産額 (①+②+③+④)	10,831
⑥	被取得企業評価額	7,227
⑦	負ののれん (⑤-⑥)	3,604

※現時点では負ののれんを約36億円と計算しており、若干ではありますが変動要素を含んでおります。

ご参考

・「のれん」とは・・・

企業結合会計上、結合時に被取得企業の資産等（不動産、子会社株式および負債等）の時価評価額と、企業結合時の取得価格（被取得企業の評価額）との差額が「のれん」として計上されます。

時価純資産額が取得価格を下回った場合・・・「のれん」

時価純資産額が取得価格を上回った場合・・・「負ののれん」

「負ののれん」については、発生した会計年度において一括で利益計上（特別利益）されます。企業結合会計上の被取得企業は名糖運輸となり、資産等の時価評価を行った結果、「負ののれん」が発生したことにより、第3四半期決算時に特別利益として計上します。



Chilled & Frozen
Logistics Holdings
Co., Ltd.

4. 株式配当について

平成28年3月31日を基準日として、普通配当と経営統合記念配当を予定しております。

1株当たりの期末配当金	:	12円00銭 普通配当10円＋記念配当2円
-------------	---	--------------------------

平成28年3月期の期末配当金につきましては、グループの通期業績予想や財務状況等を踏まえ、1株当たり10円の普通配当を実施させていただく予定であります。

また、経営統合を記念して、1株当たり2円の記念配当を実施させていただくことといたしました。

この結果、平成28年3月期の1株当たりの期末配当金は、普通配当10円と記念配当2円を合わせて12円となる予定であります。

5. 今後の主な動向について

（１）海外事業について〔名糖運輸〕

事業領域拡大の一環として、東南アジアを中心とした海外展開を検討し、冷凍冷蔵食品市場の拡大への期待からベトナム社会主義共和国に注目致しました。調査・協議を重ねた後に、2014年6月2日に現地パートナーである『Toda Industries Corporation』と合併会社『メイトウベトナム（MEITO VIETNAM COMPANY LIMITED）』を設立いたしました。

【会社概要】

商 号	メイトウ ベトナム (MEITO VIETNAM COMPANY LIMITED)
所 在 地	ベトナム社会主義共和国 ビンズオン省
代 表 者	代表取締役社長 菅原 剛
事 業 内 容	食品の冷凍・冷蔵倉庫運営 等
資 本 金	525億ベトナムドン（約2億62百万円）
出 資 比 率	名糖運輸株式会社 :50% Toda Industries Corporation :50%



【倉庫概要】

土 地 面 積	8,804㎡
建 築 面 積	6,182㎡（平屋建て）
主 要 取 扱 商 品	海産加工物・食肉・乳製品原料
取扱温度帯比率	フローズン：94%、チルド：5%、ドライ：1%
収 容 能 力	9,400パレット
関 連 設 備	・ドック7基（トレーラー接車可能） ・自家発電装置完備（米国製） ・6段積ラック ・フォークリフト10台
そ の 他	2015年11月現在、HACCP認証を取得中





◆既存倉庫の現状

【1】当年度損益予想

(単位：百万円)

	業績予想
営 業 収 益	183
経 常 利 益	53

※会計期間は1月～12月になります。

※日本円換算レートは当期首レートを適用しております。

【2】保管スペースの逼迫

当年度開始から既に収容能力を上回る入庫依頼があり、温度帯需要を考慮したレイアウト変更等の対応を行っておりますが、それでも保管スペースが不足しており、数多くのお客様の入庫をお断りしている状況であります。

◆今後の事業展開

【1】第二倉庫の建設

前述の通り、既存倉庫の保管スペースの逼迫に直面しており、数多くのお客様の入庫をお断りしている状況にあります。この状況を打破すること、加えてベトナム国の経済成長力およびTPPの影響も相まって、今後益々、冷凍冷蔵食品市場が拡大する見込みであることを背景に、現在、第二倉庫の建設を計画しております。倉庫規模に関しましては1～1.5倍の収容能力を構想しております。

また、ベトナム国ではほとんどの物流企業でいまだ行われていない流通加工サービスにも対応する予定であり、単純な保管スペースの拡張のみならず、日系企業としての新たな付加価値をベトナムで創造していきたいと考えております。

【2】運送事業の開始

第二倉庫の建設と合わせて、運送事業の開始も視野に入れております。予測されるリスクの精査、料金体系の構築、車両・人員等のリソース確保等を行い、保管・運送をセットにしたロジスティクスソリューションを提案できる体制を早期に整えたいと考えております。



(2) 新店の開設について [ヒューテックノオリン]

埼玉支店の稼働(平成28年1月稼働開始)

(仮称) 岩槻物流センターを埼玉支店と名称を正式に決定しました。関東地区における物量増と関東圏庫腹の狭隘化に対応し、問屋・病院向け食材物流機能とDC物流機能を備えた当社最大級の複合物流センターとなっております。耐震構造の自動ラック倉庫の導入、自然冷媒を使用した冷凍機及び全館LED照明化など、最新設備を導入した施設となっております。



埼玉支店	
所在地	埼玉県さいたま市岩槻区 大字長宮字ギラ1549-3 外41筆
敷地面積	7,958.42坪 (26,308.85m ²)
延床面積	9,039.36坪 (29,882.20m ²)
保管能力	70,952.00 t (177,379.98m ³)
パレット数	自動ラック 16,254 パレット
	移動ラック 12,967 パレット



- ※ 本資料は、平成28年3月期第2四半期の名糖運輸並びにヒューテックノオリンの連結決算公表時（平成27年11月10日）の数値をベースに、作成日現在（11月19日）において、入手可能な情報に基づき作成したものです。今後の業績等につきましては、様々な要因によって変動する可能性がありますので、お含みおきください。
- ※ 本資料は株式会社C & F ロジホールディングス・グループの決算概要をご理解いただくことを目的として作成したものであり、C & F ロジホールディングスの株式等の売買の勧誘を目的とするものではありません。

この資料に関するお問い合わせ
株式会社C & F ロジホールディングス
TEL：03-5291-8100 FAX：03-5291-6150
広報IR部／齋藤 善太郎